

深い想い × 技術の進化 窓と創る理想の暮らし

「グランドメゾン御園座タワー（愛知県）」のリビング・ダイニングルームから見たコーナービューサッシ。
視界が開けているので、名古屋都心のタワーマンションならではの眺望を余すことなく堪能できます。
※掲載の写真は、モデルルームを撮影したものに眺望のイメージを合成したものです。実際とは異なります。

朝の光を浴びて気持ちよく目を覚まし、
爽やかな風を感じながら、
大好きな街の景色を眺めて深呼吸をする……

夜にはきらめく街の灯りを眺めながら、
ゆつくりと一日を振り返り、
心身ともにリラックスしたひとときを過ごす……

窓から外の風景が見えることで、
四季の移り変わりや朝晩の時間の変化を感じられ
日常の中に自然のリズムを取り入れられます。

ウチにいながらソトを楽しむことができるのは、
その空間にふさわしい窓があるから。

今号はマンションにおける窓の役割・機能に着目し、
グランドメゾンの追求する
住まいのあり方について考えていきます。

光、風、景色を取り込み、心地よい空間をつくる

窓についてあらためて意識してみると、さまざまなスタイルの窓がありますね。「多様な形状や大きさの窓があるのは、その担う役割が多岐にわたるからでしょう。太陽の光や自然の風を取り込むだけでなく、眺望を楽しめるようにしたり広がりを感じさせたり、外界と住まいの中をつなぐ役割も担っていますね(三輪)」「また、断熱性や遮音性、防犯・安全面など窓に求められる機能も実には多いんですよ(瀬戸)」「そうした役割、機能にふさわしい窓をつくるうとする、いろんな工夫が必要になるんですね。お客様が「なんとなく広さや開放感を感じたから」と選ばれた物件も、開口部を大きく取っているだけではなく、窓の位置やサッシの形状などにより開放感を得られるように演出していることが多いんですよ(荒木)」「意外とわずかな違いだったりするのですが、住まいの心地よさは、窓の配置や大きさなどちよ



センターオープンサッシのリビング・ダイニング。室内にいながらにして気持ちの良い開放感を味わえますが、バルコニーがすりガラスになっているので外からの視線は気になりません。(GM川名ウエストレジデンス/愛知県)

としたことで変わってくるんですよ(瀬戸)」「どんな窓にするかを考えるときには、物件の立地も重要です。基本的には、周辺の眺望が良ければ開口部を大きくして開放感を味わえるようにして、まわりに住宅やビルなどが多い場合は外からの視線が気にならないような配慮をしています(三輪)」「特に都市部のマンションは複雑な環境下にあるため、棟棟、窓設計の考え方が異なりますね(瀬戸)」「タワーマンションの場合は、象徴的な窓のデザインになることが多いように感じています(荒木)」「そうですね。たとえば、グランドメゾン(以下、GM)御園座タワーは、高さ約150mの超高層マンションで視界が開けているので、角部屋すべてにコーナービューサッシを設けるなど、その環境を生かしたデザインにしています。柱もなく天井までの高さがあるサッシなので、とてもインパクトのある窓になりましたP10写真参照(三輪)」「お客様からも『気持ちいいね』とおっしゃっていただけです(荒木)



もともとこの地に植えられていた既存樹を生かしたGM宝塚清荒神の植栽。その緑を住まいの中へ取り込むように設けられた大開口が印象的なリビングです。日常の中で自然に触れ、季節の移ろいを感じられます。(GM宝塚清荒神/兵庫県)



サンルーフから太陽の光がふんだんに降り注ぐリビング・ダイニング。カフェのテラス席にいるかのような気持ちよさがあります。小高い丘の上にそびえるマンションだからこそ、できるスタイルです。(GM松溝/東京都)

「また湿気が多い日本では、風通しの良さも求める方が多いですね。1部屋に窓を2カ所設けるなど風の通り道も考えて設計しています。花粉症の方などは、春先には窓を開けたくないか



吹き抜けの開放的なエントランスホール。上部にルーバーをつけることで、明るさを確保しながらも落ち着いた印象に仕上げました。また、柱の素材を外と中で同じものにする事で、空間につながりを感じさせています。(GM池下ザ・タワー/愛知県)

高機能・高性能を求めることも大切ですが、「住まい手の感性に響くかどうか」という視点も忘れてはいけないうものだと思います。(瀬戸)

入る熱、逃げる熱を抑える高断熱の窓

窓の向きは、住み心地に大きく影響するので、しょうか。やはり南向きの窓が良いのですか。「かつては、大きな開口部といえば南向きという風潮がありましたが、近年は眺望や開放感を求めて南側以外にもニーズが広がっています(荒木)」「特にタワーマンションの場合は、北側の窓からも十分に光が入りますからね(瀬戸)」「窓から太陽の光がさす明るい室内は気持ちのいいものですが、一方で大きな開口部は熱が入りやすい場所でもあります。だから、設計面での工夫や配慮も必要なんです(三輪)」「一般的に、夏の冷房時に室外から侵入する熱の約7割、冬の暖房時に室外へ逃げ出す熱の約6割が、窓などの開口部から出入りしている」と



ガラス貼りで開放感にあふれている空中回廊。お出かけの道すがら、心地よい日差しに包まれながら四季折々の植栽が配された屋上庭園を眺められ、都心の暮らしの中に潤いをもたらします。(GM御園座タワー/愛知県)



マンションの顔となるファサードには小さな窓を均等に配置し、中に住まう人のプライバシーを守るとともに、邸宅にふさわしい端正な外観に仕上げました。(GM川名ウエストレジデンス/愛知県)



外観とのバランスを意識して、壁面ごとに開口部に統一感を持たせながら、リズム感を演出。主開口面と道路の間には植栽帯を設け、通りからの視線をほどよく遮っています。(GM音楽園桜町/兵庫県)

れています(瀬戸)」「単純に冷暖房効率が下がるだけではないんですよ。住まいの中に温度差が大きい空間があると、ヒートショックを起こすリスクが高まったり、結露が発生してカビやダニの発生源となってしまう(荒木)」「窓と熱の問題を解決するために、GMではLOWE複層ガラスなど断熱性能の高い窓ガラスを採用しています(三輪)」「また、窓の方向によって太陽の熱の入り方は違うため、日射熱取得率の異なるタイプのガラスを使い分けています。たとえば北側では日射熱取得率の高いタイプを使用して、冬場も部屋の暖かさを逃さず日射を取り入れられるようにしているんですよ(瀬戸)」「マンションでの複層ガラスは、今でこそ当たり前なことになりましたが、GMが採用を決めた2000年頃には、まだ珍しいものだったと記

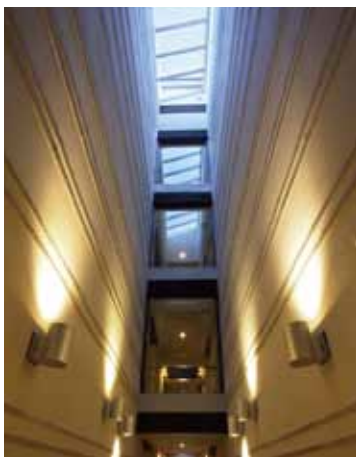
憶しています(荒木)」「窓の性能は家の性能に大きく関わってくるので、他社に先駆けて複層ガラスを採用しましたね。今では遮熱・断熱の考えが広く一般に普及してきました(瀬戸)」「日射で熱くなりやすいところでは、庇で日差しの入り方を穏やかにするなど、もう工夫することもあります(三輪)

安心感・安定感を生み、街になじむ窓を求めて

大きな窓は心地よいものですが、大開口ならではの悩みを解消するためには、細やかな配慮も必要なんです。ほかにも窓の設計時に配慮されていることはあるのでしょうか。「住まいには人を守るシールドのような役割もあり、壁があることによって生まれる安心感も



起伏のある土地に建つGM覚王山丘上町。コーナーサッシが起伏のアクセントとなり、シャワーの中にも独特の存在感をもたらしています。(GM覚王山丘上町/愛知県)



1階から5階まで貫く吹き抜けと天窓が印象的な、GM白金の共用廊下。昼間は太陽の光がやさしく降り注ぎ、夜には間接照明の表情豊かな光の演出を楽しめます。(GM白金/東京都)



talking member
名古屋マンション事業部 (左から順に)
●三輪 臣哉：技術室/一級建築士/小学生の子どもの2人いるので、休みの日には将棋をしたり、サッカーをしたりして遊ぶことが多いです。冬には家族みんなでスキーを楽しむこともあるんですよ。
●荒木 正隆：販売営業室/宅建物取引士/毎週ジムに通って、身体を鍛えています。また、週に1回は家の夕飯当番を担当。栄養バランスも考え、子どもが野菜をたくさん食べられるように工夫しています。
●瀬戸 守：技術室/一級建築士/5年ほど少年野球の監督を務めていましたが、先日、息子とともにチームから卒業しました。次は自転車に乗るうかと、山に登るうかと、新しい趣味探しをしているところです。

もしれませんが(三輪)」「今は24時間換気システムが必ず設置されており、花粉をシャットアウトできるタイプのフィルターもあるので、窓を開けなくてもきれいな空気環境を保てるようになりましたね(荒木)」「そうですね。どんな機能的な設備ができて、便利になっています。その一方で、穏やかな天気の日窓を開け、カーテンがそとと揺れる……そうした自然の風を感じる機会が暮らしの中にあつた方が、人として安らげるのではないのでしょうか。機能だけでなく、住まい手の感性に響くかどうか。その視点も、忘れてはいけないうものだと思います(瀬戸)



あるので、一概に窓が大きければいいというものでもありません(瀬戸)」「それにソファやテレビ、チェストなどの配置を考えると、壁や腰高窓があつた方が安定したレイアウトができますね(三輪)

窓が大きければ大きいほど良いというわけではなく、その街、その佇まいにふさわしいサイズがあるんです。(荒木)



「明るさや開放感と、安心感や安定感、どちらも住まいには必要なもの。だから、バランスが大切なんです。部屋の場所や向き、用途を考え、その空間で繰り返される暮らしを想像しながら設計しています」(瀬戸)

「等地のマンションなどの場合、営業の視点からは窓を大きく開放的にしてほしいと思ってしまうのですが、設計担当者からは、そうじゃないんだと言われることがあります。品位ある街の建物にこそ、壁が必要なんだ」(荒木)

「周辺環境やマンション全体をつくりにもよりますが、あまりにもオープンなつくりになると、威厳が損なわれてしまう場合があります。その街にふさわしい外観にするためには、あえて壁を多く設けることも大切なんです」(三輪)

「たとえばGM川名イーストレジデンスは、エント



ランスから見える面には小さな窓を均等に配置しています。これにより、外観デザインの風格を保ち、この土地にふさわしい佇まいとなるようにしています」(瀬戸)

「風景を絵画のように切り取る小さな窓は、室内から見たときにもインテリアのアクセントになりますね」(荒木)

「街にふさわしい外観になっているのか、窓の位置や庇の大きさはそれでいいのか、図面上で考えているだけでは判断がつかないこともあるので、窓のディテール模型をつくって確認することもあります」(瀬戸)

「外観の風格と住み心地、すべてを満たす窓を考えると、とても難しいことなんです」(荒木)



開く面と閉じる面を効果的に使い分けた窓のデザインで、スタイリッシュな外観に。メゾネットタイプの部屋の窓にはカーテンウォールを採用しており、室内から見ると大画面のパノラマビューが目の前に広がります。(GM THE 大塚/福岡県)

**ウチとソトとの
ほどよい距離感を保つ**

窓は家の中だけでなく、外にも関係しているんです。ウチとソトとの境界にある窓と、周辺環境については、どのように考えているのでしょうか。

「あまりにも外の世界に近いと落ち着かないし、窓を開けようという気持ちになりにくいですね。また街を歩く人にとっても、他人の家の中が見えてしまうのは気持ちの良いものではありません



リズム感のあるバルコニーとコーナースッシの配置が特徴的でシボリックなデザイン。住まう人はもちろん、道行く人の目も楽しませる外観に仕上げました。(GM 柏江/東京都)

ここに住まう人がどんな暮らしを望んでいるのだろうか、とことん想像して、設計図に落とし込んでいきます。(三輪)



「そうですね。音がどの方角から聞こえるのか、騒音計を持って現地へ行き、時間帯ごとの音の開き方を調べたり、周辺の道路の交通量も見て、音が気にならないように配慮しています」(瀬戸)

「模型をつくったり、騒音を測りに行ったり、設計は机上でできるものではないんです」(荒木)

「そうですね。満足して長く住んでいただけるマンションをつくらうと思ったら、こうした地道な作業の積み重ねが大切なんです」(瀬戸)

「ほかにも外から侵入しにくいように防犯対策を施したり、お子様が指を挟まないようにストッパーをつけたり、力の弱いお年寄りでも重い窓を動かすためにハンドルをつけるなど、窓にはさまざまな機能と技術、アイデアが凝縮されています」(三輪)

**想像力と機能で
暮らしを良くする窓**

さまざまな制約があるからこそ、窓の設計はやりがいがありますね。

「そうですね。諸条件のバランスに頭を悩ませながらも、暮らしをより楽しくする窓をご提案していきたいと思っています。GM白壁櫻明荘の和室などが、いい例ですね。かつての書院造りや数寄屋造りなどでも用いられた意匠性の高い丸窓を採用することにより、元料亭という土地の歴史も感じる事ができる空間ができました」(瀬戸)

「GM桜山スタイルでは、住まいの中に明かり取りを設けましたね。リビングの窓から入った自然光が、すりガラスを通して廊下まで届き、明るくとお客様からも好評でした」(荒木)



名古屋の財界人たちに長年愛されてきた老舗料亭「櫻明荘」の跡地に建つGM白壁櫻明荘には、和室も配置。床の間の並びには丸窓を設けており、かつての料亭としての風情が偲べれます。(GM白壁櫻明荘/愛知県)



フローリングのリビングに、ウィンドウトリートメントの一つとして障子を採用。雪見障子を上げると通風サッシから効率よく換気できるようになっています。(GM高宮の邸/福岡県)



リビングと廊下を壁ではなく、すりガラスで仕切ったGM桜山スタイル。リビングの窓から入った光が、すりガラスを抜けて廊下まで爽やかな明るさを届けます。(GM桜山スタイル/愛知県)

「ここに住まう人がどんな暮らしを望んでいるのだろうか、と想像していくことが大切なんです」(三輪)

「サッシやガラスは年々進化しているので、近い将来、よりメンテナンスが楽な窓もできてくるでしょう」(三輪)

「ここに住まう人がどんな暮らしを望んでいるのだろうか、と想像していくことが大切なんです」(三輪)

「2019年春には、分譲マンションで国内初の「ZEH(ネットゼロ・エネルギーハウス)」となるGMが完成予定ですが、エネルギー収支をゼロにするために、窓の断熱性能もより一層の向上を図っているんです」(荒木)

「アルミ樹脂複合サッシに、アルゴンガスを封入した複層ガラスを採用します。これによつて、開口部の断熱性を同社従来物件比で2倍に、住戸単位の断熱性は1.3〜1.6倍に向上させることができます」(三輪)

「ライフスタイルの多様化や社会的な潮流もあり、窓の機能や性能はどんどん進化しています。その進化をうまく取り入れながら、人間が本来的に求める心地よさを大切にした住まいづくりをしていきたいと考えています」(瀬戸)

*

いつもの暮らしの中に当たり前のようにある窓。ガラス越しに見える太陽の光や街並み、窓を開けたときに入ってくる風は感じて、窓そのものについて意識することは、あまりないのではないのでしょうか。意識しないといわれることは、その窓がしっくりなじんでいる証と言えるでしょう。

住まいの中のどこにどんな窓があるのか、外観にどんな印象をもたらしているのか、あらためて見てみると面白い発見があるかもしれません。

※ZEHとは、Net Zero Energy Houseの略。高断熱化と高効率設備により省エネルギーを実現し、なおかつ太陽光発電などでエネルギーをつくり、年間の一次エネルギー消費量の収支がプラスマイナスゼロ以下になる住宅のこと。